

## 『生き方』をシフトする

### 1. 日本人の平均余命

右の図は、平成8年度の簡易生命表というデータで作られた生存率グラフですが、厚生労働省が発行している平成18年度の簡易生命表では、

60才、男性:90.6%(平均余命22.4年)

女性:95.2%(平均余命27.9年)

70才、男性:79.9%(平均余命14.7年)

女性:90.3%(平均余命19.1年)

75才、男性:70.3%(平均余命11.3年)

女性:85.5%(平均余命15.0年)

80才、男性:56.5%(平均余命8.5年)

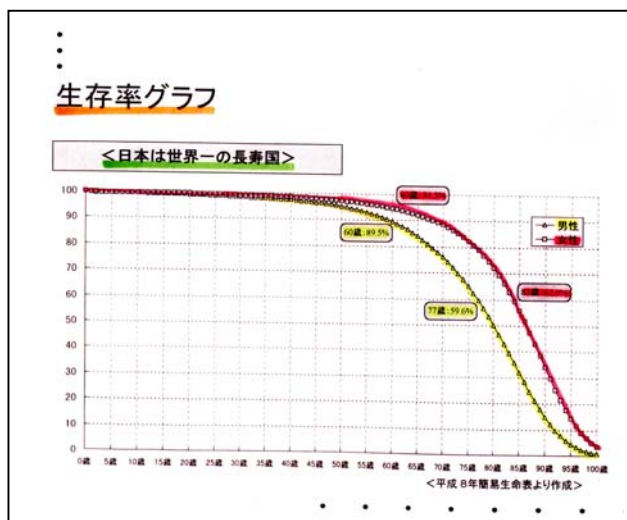
女性:77.5%(平均余命11.3年)

という風になっています。ドンドン長寿化の傾向

なのですが、私は、現在、58才なので、生存

率92.0%、平均余命24.0年という統計データ

です。参照:<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life06/index.html>



### 2. 先輩に学ぶ

あと24年も寿命があるとすれば、まだまだ、長い時間がタツプリあると思うのですが、先輩方をモデルにして考えると将来の「自分の姿」が浮かんで来ます。例えば、私は丑年生まれですから、一回り上の方を自分のモデルに考えますと広島M社のK会長、大阪K社のT相談役も元気にお活躍されています。また、お客様を見渡しても、まだまだ現役でカクシャクとされている方が多いです。そういう事実をまず受け止める必要があります。

しかしながら、さらに、重要な事は、もう一回り上、すなわち、82才の方々を探すと身近なところでは、あの方という人が見当たらなくなります。ご近所でトボトボと歩いている方は見受けませんが、現役で活躍されている方は殆ど見当たらないですね。

母は、「70位の時は、まだまだ若い」と言ってくれていますが、確かに、70位の先輩方の話を聞いているとそういう感じがします。ある方は、ご夫婦で世界一周のクルーズを楽しまれているとの事です。私は、ゴルフが好きなのですが、クラブや練習場でも70才位の方々は、結構、元気に頑張っておられますので、健康的に颯爽としている実感があります。

しかしながら、健康そうに見受けても、何かの大病をする可能性もあるのです。Mさん、Tさんのご両名もがんの手術を受けられましたが、大阪のM社のN会長は、PET検査で脳に腫瘍が出来ているのを早期発見されて、大手術を受けられたという事実もあるので、早期発見という意味でも検診を定期的にする必要性を感じます。確かに、「早期発見」こそ健康長寿の秘訣なのかも知れません。見習いたいと思います。

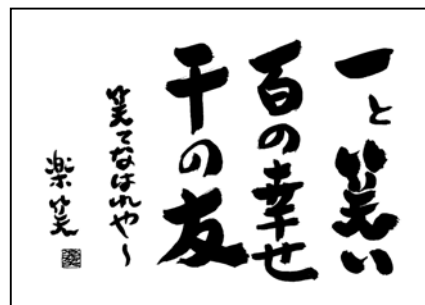
### 3. 2つの出会い

私は、昨年、2つの大きな出会いがありました。一つは、7月に「求めない」という言葉との出会った事です。長野県の伊那にお一人で住む詩人で英文学者の加島祥造(83)さんの著書「求めな

い」に出会ったのです。私は、ここ数年、あれこれと悩んで来たのですが、この言葉がスーッと腑に落ちて、パッと悟りを開いたような気分になったのです。「無」とか「空」とか言う言葉がありますが、私には、「そうか」という頭の理解だったのですが、この「求めない」の言葉でグッと心に入りました。



もう一つは、M社のN会長との関係です。Nさんは10年近いお付き合いをしている方なのですが、今年の春に「楽笑」さんをご紹介して頂き、この「楽笑ブランド」をビジネスにしたいという希望をお聞きしたのです。確かに「遊書」というジャンルの作品(右下を参照)を書いておられるのです。楽笑さんはタナカユキというBMWディーラーの会長をされていて、長年「遊書」を楽しんで来られたのです。



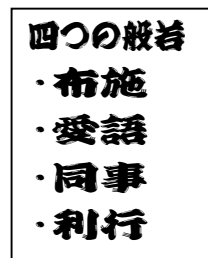
私は、Nさんに「こういう物は、あまり幸せでない時に心に響く」とある方の言葉をご紹介したのです。確かに、Nさんも心に迷いがあったと思います。しかし、Nさんの情熱は変わらないので、私は、「楽笑」を好きになる努力として、自分のメルマガ(5月17日号)に取り上げることになりました。6月13日号からは『今日の「楽笑カレンダー」』として、「泣くまがあったら、笑って生きよ〜〜〜」という風な「訓」を毎号1つずつご紹介するようにしました。

これを続けているうちに「楽笑」さんの隠れたポイントが見えて来たのです。それは、自筆の書を額装して、どんどんプレゼントされている事実なのです。「ギブ&ギブ」の精神なのです。「来る人、来る人、皆、神さ〜ん」という言葉もあるのですが、まさにプレゼントで話題を集めて、どんどん集客されているのです。その結果、本業のBMW販売で日本一に輝かれたのです。

これを続けているうちに「楽笑」さんの隠れたポイントが見えて来たのです。それは、自筆の書を額装して、どんどんプレゼントされている事実なのです。「ギブ&ギブ」の精神なのです。「来る人、来る人、皆、神さ〜ん」という言葉もあるのですが、まさにプレゼントで話題を集めて、どんどん集客されているのです。その結果、本業のBMW販売で日本一に輝かれたのです。

#### 4. 「生き方」をシフトする

私は、経営コンサルタントという職業に踏み出したのですが、サラリーマン時代には、コンサルタント業は「禅宗のお坊さん」というイメージでいました。右掲の「4つの般若」という言葉は、この世をうまく行きぬく知恵として教えるものです。布施は、いわゆる「お布施」でお金をあげること、愛語は、相手を思ってかける言葉、同事は、仲間になる事、利行は、メリットを供与すると言う意味であります。私は、この4つの般若を大切に生きて来ました。



今回、「生きる」ということを客観視して、「生存率グラフ」や多くの先輩をモデルに考えて、これからの「生き方」を模索しました。ここで、重要なことは「如何にして実践に移すか？」であります。私は、幸いにも来年7月には60才になり報酬比例という年金を頂けるようになります。さらに、再来年には、妻も年金が入るようになるのです。本当に、ありがたい話なのです。この「ありがたい」を70才に向けて、時間をかけて具現化して行きたいのです。

私は、加島さんの「求めない」という究極の生き方、楽笑さんの「笑てなはれや〜」というギブ&ギブの生き方、さらに、「ありがたい」という感謝の念を加えて、自分らしい「生き方」を見出したいと思っています。それは、「若い人」を育てるという大それた願いなのです。サラリーマンの方、私のように「会社」という器からはみ出した方、最初から自分で生きている方など様々な方々がおられます。このような方々に、自分の「知識・経験・根性」の3拍子を提供して、彼らが「幸せ」になるようにお手伝いをして行きたいと思っています。

「思い」は幾らでも描けるのですが、なかなか実践できないのが世の常です。ナポレオン・ヒルなどに代表される「成功プログラム」が人気ですが、彼らの構図は、共通していて、

- ★まず、自分の「夢」を5W2Hで描く
- ★次に、その「夢」を実現するために「差し出すもの」を一つ決める
- ★その「差し出すもの」を通して、「夢」に到達するシナリオを描く
- ★そのシナリオのチェック・ポイントで必ずズレを把握する
- ★そのズレをシナリオ通りにのせる努力を行なう

というものです。一般にいう「PDCAサイクル」なのですが、C:チェックのタイミングを決めておき、A:対応策を練るという事が、なかなか、できないのです。いわゆる「やりっぱなし」状態になっているのです。私は、この「PDCAサイクル」は、若い時から自分流に実践して来ました。いわゆる、年末に行なう「一年の棚卸」と年初に掲げる「一年の計」であります。この方法で、軌道修正しながら、70才に向けて、歩んで行きたいと思います。

#### ■まとめ

1. 「平均余命」という統計を知る・・・意外に時間は限られている
2. 先輩に学ぶ・・・先輩は自分の先行指標！健康管理が基本。
3. 2つの出会い・・・人生を変える瞬間を大切にす。
4. 「生き方」をシフトする・・・「とりあえず」主義で、まず着手するのがコツ。

【AMIニュースのバックログは<http://www.web-ami.com/siryo.html> でご覧になれます！】